に昨年11月にホットラインを開設

本市と自主防災組織との間

市への開設連絡や、

気象情 いなど、

要望の受け付け

連 報

黒色に復元するなど、

できる限り

往時の姿に近づけていきたいと考

えている。

市との初動連携は。

問

避難場所を開設する時

め

学区自主防災組織の活動

ば

携体制を構築した。



稲葉誠一郎 誠友会

準備中である。全体の78・9%に当 契約済みで残りの203件は発

対応は 平成30年7月豪雨災害への

②国・県・市で実施している浸 事の進捗状況は。 問 ①本市が行う災害復旧工

水対策の現状は、

本年8月末時点では1380件が の災害復旧工事は1583件あり ①土木施設や農業用施設等

型水位計15カ所の設置等を行い、 本的な浸水対策に取り組む。 組んでいる。 まとめた内容に基づき着実に取り における浸水対策協議会」で取り 行うなど、それぞれが「福山市域 ンプ場をはじめ排水機等の設計を や排水機場への防水施設の設置 ている。 県は21河川 手城川流域の雨水幹線とポ 本市も河川等の土砂撤去 の河道掘削等を実施 おおむね5年間で抜 0 L

ほか、 ②国は芦田川と高屋川に危機管理 たる1249件が完成済みである。

福山城跡保存活用の現状は

誠友会

正き人と

に一部復元するが、 ②福山城天守外観を築城時の姿 問 ①石垣整備の進捗状況は。 その具体は。

今後、 ②北側の鉄板張りや、 画を策定する。 辺一番櫓周辺を調査する予定で、 掘調査を行っており、 答 調査結果等を踏まえ整備計 ①基礎データ収集のため発 今年度は神 格子の色を

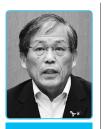


市民連合

池がま

制度の導入は 認知症・地域ケア相談医

され、 強化している。相談医と地域包 談医を配置し、在宅支援体制を 圏域ごとに認知症・地域ケア相 岡市は、 問 括支援センターとの連携も密に 認知症対策に効果を上げ 会派で視察した富山県高 市医師会の協力を得て



西は本を 市民連合 75 分

案内表示等の在り方は 外国籍市民対応を考えた

英語で表記している例はあるが、 るため、 意思疎通を図り、 必要では。また、 庁舎の案内表示等の多言語化が 問 現在、 外国籍市民が多くなる中 翻訳機導入の検討を。 庁舎等でローマ字や 共通理解を得 相談窓口等で

> ていた。こうした相談医制 本市への導入の考えは。 度

オレンジドクター等の医療・介護 らの体制は高岡市の制度と同様の 関係者の連携を図っている。 ンターでは、認知症サポート医や的な役割を持つ認知症疾患医療セ 役割を担うもので、 実強化に努める。 事例の支援内容等を検討している 参加する「地域ケア会議」 ンターが、 また、地域の認知症医療で中核 本市では、 医療・介護専門職等 地域包括支援 地域支援の充 で個別

外国籍市民の利用が見込まれる民 間施設にも協力を要請する。 して、まずは公共施設から対応し 設の多くに多言語での表示はない。 庁舎の案内板や庁舎以外の公共施 早急に多言語表示の基準を策定

英語、 導入する予定である。 要と考えている。 ブリを搭載したタブレット 効な手段であり、 はじめ、さらなる多言語対応が必 るが、在住者が多いベトナム語を トガル語の4カ国語に対応して また、本市の相談窓口では現在 中国語、スペイン語、 今年度、 翻訳機導入は有 翻訳ア -端末を ポル

・かかりつけ医への認知症の診療等に対する助言や支援を行うとともに、専門医療機関や地域包括支援センターとの連携の推進役となる医師のことで、3月末時点の本市の人数は43名。・日頃受診するかかりつけ医に気軽に認知症の相談ができるよう、「もの忘れ・認知症相談医」として広島県が認定した医師のことで、3月末時点の本市の人数は145名。 ※認知症サポート医